

■お困りの時には

臭いがとてもくさい

臭いは腐敗菌(嫌気性菌)の繁殖が原因です。これらの菌は水分を好みますので生ごみの水切りと容器内の水分調整が必要となります。

- 生ごみはよく水切りして入れてください。
- 腐敗したごみは適しません。
- 土を多めに投入します。
- 乾いたごみや市販のパーライト等の水分調整剤を入れてください。
- 市販の消臭発酵促進剤を入れてください。

結露による水分はどうしたらよいか?

蒸発した水が容器の壁で結露して水分が過剰になる場合があります。

- ごみ層に穴をいくつか作り、水の逃げ場を設けます。
- パーライト(水分調整剤)や段ボール片などを入れて水分調整をします。

良い堆肥を作りたい

良い堆肥を作るには炭素と窒素のバランスが大事です。生ごみだけでなく、炭素が多く窒素が少ない枯れ葉や枯れ草を混ぜ水分を低下させることでより良い堆肥を作ることができます。

※枯れ葉の効果
分解しかかっている枯れ葉の表面には細菌が多く住んでおり、それらを堆肥に混合することにより堆肥化に必要な微生物を増殖させることができます。

ウジや小バエが発生した

生ごみに集まるハエはイエバエ、クロヒメイエバエ、水アブなどが多いようです。いずれもごみの水分に繁殖しますので、水分調整が重要になります。

- すでに発生してしまった害虫は取り除いて駆除します。
- 市販の丸型防虫剤(固形防虫剤など)を付属のケースに入れて容器内側の突起に吊り下げてください。
- ウジやハエは春から夏にかけて発生しやすくなりますので春先の対処が効果的です。
- 土や落ち葉等を多めに投入し水分調整を図ってください。

減量がうまく進まない

- 分解に時間のかかる卵の殻、魚の骨、エビの殻、みかんの皮などを投入すると減量がうまく進まない場合があります。
- 冬場は発酵分解が遅いので減り方に時間がかかる場合があります。
- 容器内が3分の2以上になると減量速度が落ちます。その場合は移設が有効です。

その他の注意事項

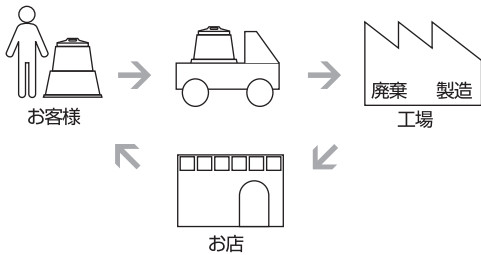
投入時の工夫
水気を切る(新聞紙やダンボール片を入れる、風通しの良いところで乾燥する、天日に干す)大きなものは細かく切る。

投入する生ごみについて
汁もの(水分)、油分、魚や肉(タンパク質)などは悪臭の原因になるため、大量に入れない。

微生物とのつき合い方
土中微生物だけでも有効ですが、市販の消臭発酵促進剤に含まれる微生物を加えることでよりバランスがよくなり、良い結果が得られます。

■容器の引き取りについて

ご不要になったミラクルコンポは引き取りを承っています。その際、処理費用はかかりませんが送料のみお客様にご負担いただいております。詳細は下記のお客様相談窓口にお問い合わせください。



品質表示		
原料樹脂	本体、フタ/ポリエチレン	防虫ケース/ポリプロピレン
耐熱温度	100度	120度
耐冷温度	-30度	-10度

●新輝合成株式会社
東京都品川区西五反田2-14-10
お客様相談窓口 フリーコール 0077-781-088(無料)
または048-556-6165(有料)

●この商品の仕様については改良のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

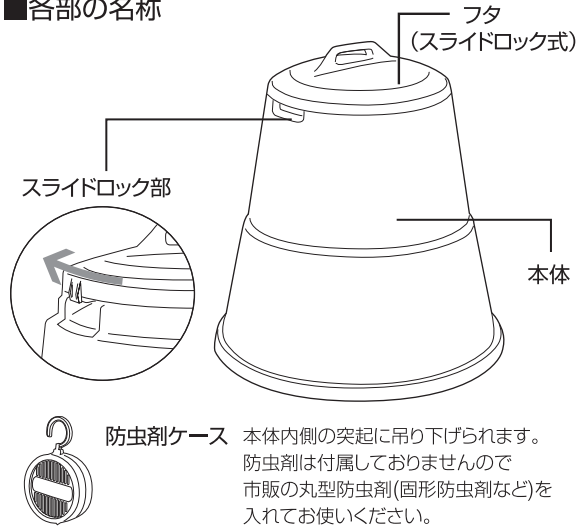
TONBO 屋外用生ごみ処理器 ミラクルコンポ 200型/150型/100型 取扱説明書

1608

この度は弊社商品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。以下の取扱説明書をよくお読みのうえお使いください。なおこの取扱説明書は保管してください。

- ⚠ 危険 ⚠ 以下の行為はケガの原因となる場合があります。
- 容器の上に乗らないでください。
 - 容器はしっかり土に固定してお使いください。
- ⚠ 注意 ⚠ 以下の行為は商品の破損の原因となる場合があります。
- 土中微生物を利用するため必ず土の上に設置してください。コンクリート、アスファルトの上では使えません。
 - 火気のそばに置かないでください。
 - 近隣環境、移設等も考慮のうえ設置場所を決めてください。
 - 生ごみを減量した段階は「処理物」であり、堆肥の原料となりうるものですが堆肥としては未熟です。
 - 処理物及び堆肥についてはお住まいの自治体にもご確認のうえ自己責任に於いて処理及びご使用ください。
 - 市販の防虫剤、消臭発酵促進剤等のお取り扱いにつきましてはお買い求めの商品の取扱説明書にしたがってください。
 - 本来の目的以外でのご使用はおやめください。

■各部の名称



■助成金制度について

多くの自治体で生ごみ処理容器購入助成金制度を実施しています。ご購入前にお住まいの自治体にご確認いただき、お手続きのうえお買い求めください。

■サイズ



■生ごみ堆肥化のメカニズム

土中の微生物(好気性菌)の働きによって生ごみを発酵、分解します。この発酵、分解したごみは処理物ですが、処理物の段階では堆肥としては未熟です。よく熟成させてからお使いください。堆肥には植物の育成に必要な成分がバランスよく含まれており土地の保水力を高める効果もあります。

